

# News Release

## 「令和5年度のJA共済事業計画」の決定について

JA共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 柳井 二三夫）では、「令和5年度のJA共済事業計画（第74年度事業計画）」を決定しましたのでお知らせいたします。

令和5年度は「新たな時代に、変わらぬ安心を ～地域とともに、農とくらしの未来を支えるJA共済～」をスローガンに掲げた今次JA共済3か年計画の中間年度にあたることから、同計画の着実な実践に向け、令和4年度における取組状況や課題をふまえた施策を展開してまいります。

令和5年度は「組合員・利用者の皆さまへの安心と満足の提供」というJA共済事業の原点を再確認し、組合員・利用者の皆さまが万一の際に十分な保障を受けられるよう、JA支援機能をさらに強化し、JA・JA共済連が一体となって取り組むことを基本方針に、5つの重点取組事項を設定しております。（詳しくは別紙をご覧ください。）

JA共済は、これからも「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、組合員・利用者の皆さまに「安心」と「満足」をお届けできるよう、「ひと・いえ・くるまの総合保障」を提供するとともに、健全な経営による事業活動を行ってまいります。

**令和5年度の重点取組事項****1. 生命分野を中心とする保障充足**

組合員・利用者の皆さまの保障充足に向けて、以下の施策に取り組みます。

- (1) 推進力の強化に向けた環境整備・人材育成
- (2) JAの総力を挙げた“寄り添う”活動の徹底
- (3) ライフプランに応じたひと分野の保障・サービスの提供強化
- (4) いえ・くるま分野における保障・サービスの一体的提供

**2. 事業基盤づくりに向けた共済事業体制総点検運動の展開**

将来にわたって組合員・利用者の皆さまに安心と満足を提供するための事業基盤づくりに向けて、以下の施策に取り組みます。

- (1) JA個々の課題に応じた計画策定・実践
- (2) JA指導・サポート職員の育成強化
- (3) JA指導・サポート機能の発揮を支える取組み

**3. デジタル技術等のさらなる活用**

組合員・利用者の皆さまの利便性向上や契約者対応力の強化等に向けて、以下の施策に取り組みます。

- (1) 組合員・利用者との接点拡充・利便性向上
- (2) コロンブスの効果的活用によるLAの活動支援
- (3) JAのさらなる業務効率化・契約者対応力の強化
- (4) デジタル活用の促進に向けた体制強化・取組展開

**4. 農業保障のご案内等による農業・地域への貢献**

組合員・利用者の皆さまの農業リスクの低減等に向けて、以下の施策に取り組みます。

- (1) 農業保障のご案内活動の徹底
- (2) 農業法人への提案力強化に向けた取組み
- (3) 農業・地域への貢献によるJAファンの拡大

**5. JA共済事業を支える信頼性・健全性等の強化**

JA共済事業を下支えする信頼性・健全性等の強化に向けて、以下の施策に取り組みます。

- (1) 組合員・利用者選ばれ続けるためのコンプライアンス態勢の強化
- (2) 組合員・利用者の「声」を活かしたCS向上への取組み
- (3) 新たな健全性規制を見据えた統合リスク管理態勢の高度化・強化
- (4) SDGsの達成に向けた取組みの強化

<令和5年度共済種類別契約高予定表（新契約高）>

共済種類	金額等	
生命総合共済	(保障共済金額)	43,791 億円
建物更生共済	(保障共済金額)	111,421 億円
医療系共済	(件数)	703 千件
	(入院日額)	4 億円
	(治療共済金額)	933 億円
介護共済	(介護共済金額)	2,384 億円
生活障害共済	(保障共済金額) ※	(一時金型) 2,347 億円
		(定期年金型) 2,417 億円
特定重度疾病共済	(特定重度疾病共済金額)	2,145 億円
認知症共済	(認知症共済金額)	1,322 億円
年金共済	(年金年額)	982 億円
自動車共済	(件数)	7,960 千件
	(元受共済掛金)	342,896 百万円
自賠償共済	(件数)	3,169 千件
	(元受共済掛金)	57,963 百万円

※一時金型は生活障害共済金額。定期年金型は年金年額×共済期間×1/2。

以上